

社協だより

発行責任者
会長 酒井正治
事務局
池田市民センター内
電話 618-2188

令和七年度がスタートしました。新規事業、小地域福祉活動計画を十七人の策定委員が会議を重ねて、「池田校区・ふくしのまちづくり計画」の概要が出来上がりました。「世代を超え、今こそひとつになろう・池田！」を基本理念に三つの目標とその取り組みを定め、今年から五か年にわたっての取り組みを定めました。この取り組みは、地域の皆様の協力なしでは成り立たない取り組みです。皆様の「理解・支援」をよろしくお願い申し上げます。また、長年取り組んできた事業も、諸般の事情により中止となってしまいました。ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

池田校区社会福祉協議会 会長 酒井 正治

池田校区社協・役員

支え合いのまちづくりを
目指します！

令和7年度のメンバーです
よろしくをお願いします
☆新メンバー (敬称略)

役 職 名	氏 名
会 長	酒井 正治
副会長	太農 正吉
事務局長	堀江日出男
事務局次長	渡邊 和昭
"	☆大迫 正
"	片桐 良寛
"	浦部 倫太
"	西嶋 朋子
会 計	鈴木奈保美
会計監査	千々和昭男
"	☆酒井 昭夫

ご寄付のお礼

私たちの活動は、皆様の善意のご寄付によって支えられています。ご協力ありがとうございます。

香典返し

故人 井上 静一様 井上 眞子様 住所 石松 孝子様 石松 暢明様 池田 茶屋の原

地域の福祉活動のお役に立てさせていただきます。

『校区医より』メッセージ

今からの時期、細菌による感染性腸炎が流行してきます。症状は激しい胃痛、嘔吐、頻回の水様下痢などです。

原因となる食材は刺身などの生食だけでなく、鶏肉や牛肉、生野菜や卵を使用した甘味、飲料水でも感染することがあります。では、どのような状況で感染してしまうのか？ですが、高温多湿な環境に食材がさらされた後に、その食材を飲食して感染することが多いです。

例えば、バーベキューなどで生焼けの食材を食べたり、弁当に入っている食材が傷んでいたりと、直接口を付けたペットボトルの飲料水を温度が上がる場所に置きっぱなしの後、再度飲水することで感染のおそれがあります。

菌が繁殖する環境がそろえば数時間でも発生しますので、時間経過した食べ物を口にするものはなるべく控えましょう。

白井内科医院

院長 白井 竜

「年賀状」を中止します！

毎年、池田小学校の児童から高齢者の方々に、年賀状を送ってまいりました。この目的は、児童が地域の福祉活動を考えるきっかけと、年長者との交流の機会になればと考え、長く事業を実施してきました。

しかし、個人情報取り扱いが厳しくなり、郵便料金の値上げや諸般の事情により、今年度より年賀状の発送を中止することにしました。

子ども達からの年賀状を楽しみにされていたと思いますが、誠に申し訳ありませんが、ご理解のほどをよろしくお願い申し上げます。

「ウェルクラブ

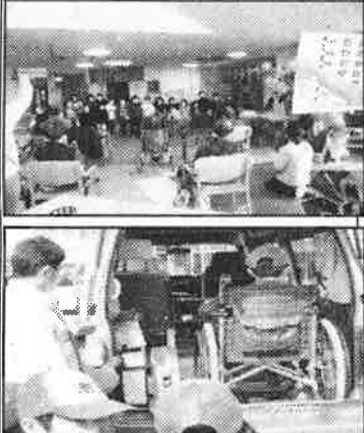
倫尚園との交流事業」

この事業は、児童とデイケア介護者、障害のある高齢者との交流を通して、人への思いやる心を育成することを目的に、取り組んでいます。

三月一日、児童十五名、池田児童クラブ職員・社協役員九名合計二十四名で、倫尚園に行きました。

施設の見学、紙芝居、折り紙プレゼントで、倫尚園の入所者の方と仲良くなりました。

後半は、障害者用の福祉車両の見学や、直接車両に乗るなど貴重な体験をしました。



ふる里の歴史

(第三十三回)

「筑前竹槍一揆」

筑前竹槍一揆は明治六年六月十六日に嘉麻郡から始まりました。

明治新政府になっても生活が良くならないため、不満を持った人々が竹槍を持って福岡県庁に向かいました。参加者の人数は日ごとに増えて三十万人になったと言われています。しかし、福岡県庁では鎮撫隊から銃や刀で攻撃されたため、一揆勢はちりぢりになって故郷へ逃げ帰りました。

このような時に八幡、若松、中間、遠賀などから集まった数千人の一揆勢は六月二十六日、庄屋宅や富家宅を襲撃して、遠賀川の老良浜に結集しました。一揆勢に参加しないと乱暴、放火すると脅されて、やむなく参加した人も少なくありませんでした。そして、二十七日に福岡隊や士族隊が大砲などで威嚇したため、一揆勢は解散、帰村しました。

その後、一揆に参加した者には役人が取り調べて、重い斬罪から軽い呵責までの処罰が行われました。

千々和 昭男

2024・池田児童クラブ活動の様子



夏休み中の活動



夏休み中の活動



夏休み中の活動



夏休み中の活動



皿回し体験



夏休み中の活動



皿回し体験



皿回し体験



紙芝居

池田児童クラブは、平成十六年に池田校区社会福祉協議会が北九州市から委託され開設しました。児童クラブでは、毎日子ども達の笑い声でいっぱいです。放課後や土曜日、長期休み等子ども達の安らぎの場として、又、異年齢の子ども達が共に遊び、共に学び合う場になっています。

開所当時は三年生までの預かりで約二十名程の人数でした。その後、平成二十年より六年までの全学年対象児童の預かりとなりました。今では約八十名程の登録数で活気に満ちたクラブとなり、お友達づくりの場としてもご利用されています。

これからも保護者の皆様が安心して預けられるように、運営委員会、支援員が地域の方々の協力を得ながら、運営をしてまいりたいと思っています。

池田児童クラブ主任支援員 倉地 理恵

「池田児童クラブ」



バスハイク



バスハイク



バスハイク



バスハイク



バスハイク



バスハイク



ぼっくりを使って



クリスマス会

令和七年二月一日発行の社協便り第一〇九号で、「池田児童クラブ」の原稿を間違えて掲載しました。誠に申し訳ありませんでした。お詫び申し上げます。今回、新しい内容を掲載しております。

「お詫びと訂正」